

II 開発教育指導者研修(実践編) 第1回

■ 開催概要

- ◆ 日時 : 2012年6月16日(土) 13:00~17:10、17(日) 10:00~15:30
- ◆ 場所 : なごや地球ひろば2階 セミナールームA
- ◆ 参加者数 : [1日目] 受講者41名、JICA8名、NIED4名、合計53名
 : [2日目] 受講者39名、JICA4名、NIED5名、合計48名
- ◆ ファシリテーター : (特活) N I E D ・ 国際理解教育センター 伊沢令子

■ 今回のねらい

- ① 研修の全体像を理解し、各自の参加の目的を今一度ふりかえり、共に学び合う仲間同士知り合う。
- ② 開発教育・国際理解教育の目的、内容、方法を体験的に理解する。
- ③ 持続可能な社会を築くために、世界の現状を理解し、開発教育・国際理解教育の必要性を共有する。
- ④ 価値観を育て、行動変容を支える参加型についての理解を深める。

■ 開催の様子



ペアになり2つのパターンのコミュニケーションで意見交換



変えたいことを付せんに書き、模造紙の二次元軸上に整理



価値観は多様！テーブルで行う「4つのコーナー」



持続可能な未来のビジョンを7カ条にまとめる

■ プログラムの内容

● セッション1 「まずはわたしとあなた」 6/16 13:00-15:18

1. 主催者あいさつ／スタッフ紹介など 13:00-[23]
 - ◇ 山本次長あいさつ、JICA中部のスタッフ紹介、NIEDの紹介およびスタッフ紹介、その他確認事項を行う。
 2. 研修の目的と全体像の理解 13:23-[17]
 - ◇ 2つの研修概要の説明、研修のねらいと内容・進め方の確認、開発教育・国際理解教育についての説明を行う。
 3. アイスブレイキング1 「名刺で自己紹介」 13:40-[39]
 - ◇ 自己紹介シート（①お似合いの漢字一文字、②私のウリ3つ、③今一番楽しいと思うこと、④この研修への期待）を作成し、カクテルパーティー方式で紹介する。自分のお似合いの漢字、印象に残った一人をグループで紹介し合う。
 4. アイスブレイキング2 「同じところ／違うところ」 14:19-[15]
 - ◇ グループメンバー全員に共通するところを探す。一番多く共通点を見つけたグループが全体で発表する。
 - ◇ グループメンバー全員が違うところを探す。一番ユニークと思う違い1つを全体で発表する。
 5. わたしをふりかえる・社会をふりかえる 14:34-[44]
 - ◇ 3つのこと（①わたしが自分の人生で大切にしていること／大切だと思っていること（3つ）、②わたしやあなたやみんなが生きるこの社会にとって大切だと思うこと（3つ）、③わたしが今生きているこの社会で誇りに思うこと／残念に思うこと（1つずつ）に関して用紙に書き、グループで主な1つを共有する。
 - ◇ グループで共有して、わかったこと、いえることを模造紙に書き出す。模造紙回し読み方式で全体で共有する。
- 休憩 - 17min

● セッション2 「わたしとあなた、そしてみんな」 6/16 15:35-17:10

1. グループ替え、一言自己紹介 15:35-[10] …「こう見えて〇〇な誰々です」
2. 豊かに気持ちよく学び合うコミュニティにあるといい約束 15:45-[21] →成果1参照
 - ◇ ペアで、2つのパターンのコミュニケーション（①「Yes, but…」、②「Yes, and…」）を体験しながら、「あるといい約束」を出し合う。グループになり、「あるといい約束」を3つに決める。
3. 地域と世界の今をふりかえる 16:06-[48] →成果2参照
 - ◇ 地域や世界の現状に関して変えたいと思うことを付せん紙に書き、グループで、地球—地域 v s 環境—人権という二次元軸表上に分類整理する。わかったこと、いえることをまとめ、2つを選び全体で発表する。
4. 今、地球で起きている30の真実 16:54-[7]
 - ◇ 資料を読み、一番印象に残ったものを1つ選ぶ。ファシリテーターが国際理解教育の目的を解説する。
5. ふりかえり・事務連絡 17:01-[9]
 - ◇ グループで1日目の感想を共有する。JICA中部からイベント等の紹介などを行う。

● セッション3 「未来のビジョンと教育」 6/17 10:00-12:32

1. JICA TIME 10:00-[25]
 - ◇ JICAの紹介、JICA中部開発教育支援メニューの紹介、なごや地球ひろばの紹介などを行う。
2. 研修の全体像・ねらいの再確認および開発教育・国際理解教育 10:25-[15]
 - ◇ 第1回からフォーラムまでの研修の全体像と受講者に期待することを説明する。参加型と行動変容、開発教育・国際理解教育と関連教育、ESD（持続可能な開発のための教育、持続発展教育）を説明する。
3. 一言自己紹介と印象に残ったデータ 10:39-[13]
 - ◇ グループで「今度生まれ変わるとすれば何になりたいか」、セッション2の4の資料で一番印象に残ったものを紹介する。

4. 「開発とは？」ランキング 10:53-[24]

- ◇ 「開発とは？」ワークシートに書かれている9つの「開発」の定義を読み、「開発」にとって一番重要だと思うもの（1位）と、一番重要でないと思うもの（9位）を選び、理由を考え、グループ・全体で共有する。

5. 地域と地球の課題 20世紀型開発のツケ 11:17-[9]

- ◇ 20世紀型の開発の光と影のミニレクチャー後、「地球の数字Ⅲ」「日本の数字Ⅲ」の資料を各自読む。

6. このツケをほっておけない理由！？ 11:26-[21]

- ◇ もしも20世紀の開発がもたらした課題（ツケ）を解決せずにほっておいたら、どんなことにつながっていくのか、グループで派生的に考え模造紙に書き出す。自分にも影響が及ぶと思うものに自分のイニシャル、最悪の帰結だと思うものにドクロマークを付ける。→[成果3](#)参照

7. ESDってなに？ 11:47-[5]

- ◇ 「ESD」の定義・解説、背景と歴史、「育てたい価値観/能力」などについて資料を基に説明する。

8. グループ替えと一言自己紹介 11:52-[5] …「最後の晩餐に（誰と）何を食べたいか」

9. 持続可能な未来のビジョンを共有しよう！ 11:57-[35] →[成果4](#)参照

- ◇ グループで、私たちが望む「持続可能な未来」はどんな社会であるか、どんなことが実現されている社会なのか、否定的な表現は使わず、ブレインストーミングで模造紙に書き出す。ギャラリー方式により全体で共有する。
- ◇ ブレインストーミングで出てきたアイデアを7カ条にまとめ、模造紙に書き出し、全体で発表する。

- 休憩 - 63min

● セッション4 「人の価値観・選択・行動と参加型」 6/17 13:35-17:30

1. グループ替えとセッション3のふりかえり 13:35-[18]

- ◇ グループ替えをし、「自分を文房具に例えると」で自己紹介する。セッション3を通して気づいたこと、感じたことを紹介し合う。

2. 価値観は多様「4つのコーナー」 13:53-[41]

- ◇ 正解のない質問について、自分の回答を「はい」「どちらかと言えばはい」「どちらかと言えばいいえ」「いいえ」から選び、回答が書かれた付せん紙を机に出す。自分が出した答えの理由を1人20秒間で伝え合う。質問内容…
 - ①カレーライスが好きだ。
 - ②自分の子ども時代よりも今の子どもの方が幸せだと思う。
 - ③いじめはなくなる。
 - ④死刑制度には反対だ。
 - ⑤野球といえばドラゴンズだ。
 - ⑥世界を平和にすることは可能だ。
- ◇ 自分が多数派か少数派かがわかった時の気持ち、好みに関する質問と価値観を問う質問の時の気持ちの違い、理由を聞く前と後の気持ちの変化など、やってみて感じたことをグループで共有し、全体で発表する。

3. いじめのない社会を築くために役立つプロジェクト 14:34-[19]

- ◇ ③⑥の回答分布を確認する。…40人中28人はいじめはなくなる、40人中36人は世界を平和にできる。
- ◇ グループで、いじめのない社会にするために、どうしたらよいか話し合う。メッセージ方式で他のグループのアイデアを共有する。

4. 選択の基盤となるものは何？ 14:53-[6]

- ◇ 受講者の半分ずつが、それぞれ違う視点で書かれた「子宮頸がん啓発資料」を読む。ワクチンを打つ（勧める）か否か挙手で確認する。もう一方の資料を読み、再度挙手で確認する。→結果：読んだ資料によって判断が分かれた。

5. わたしの価値観を育てたものは？ 役立つもの/阻むもの 14:59-[15] →[成果5](#)参照

- ◇ より良い未来を選択していく上で役立つこと/阻むものを、グループで模造紙に書き出し、全体で共有する。

6. 未来につながる選択と行動変容を支える参加型 15:14-[2]

- ◇ ファシリテーターレクチャー…①知らないからやらない、②知っているけどやらない、③知っているけどまだできない、④知っているからやる！できる！という行動変容の各段階に必要なものは、「知識（①→②）」、「気づき（②→③）」、「スキルトレーニング（③→④）」で、気づきやスキルトレーニングのためには参加型が重要である。

7. 全体ふりかえり・事務連絡 15:16-[14]

- ◇ ふりかえりシートに記入する。グループで第1回を通しての感想を共有する。事務局からの連絡事項を伝える。

■ 主な成果物

● 成果1：豊かに気持ちよく学び合うコミュニティにあるといい約束

- ◇ あいさつをする（休憩中もコミュニケーション）。寄り添って聴く。目を見て話を聞く。思いやりをもって接する。
- ◇ 相手を認める。うなづく。雰囲気をつくる（和やかな、話しやすい）。違いを楽しむ。待ってあげる。
- ◇ 自分と違う意見であっても否定せず受け入れ聞く（価値観の違う人とも理解し合う）、反応する。思ったことは話す。オープンマインド。Yes, and…。コミュニケーションの基本であるあいさつを大切にす。
- ◇ 名前を呼んであいさつ、そして誉められたら最高！否定せず受け入れ、「違う」と思ったら笑顔で提案。積極的に参加して積極的に聴く。
- ◇ ニックネームを覚える。最後まで話を聞く、批判しない。自分の思いを声に出す（まとまっていなくても）。
- ◇ 笑顔で名前を付けてあいさつする。話を聞くときは笑顔でうなづきながら聴く。お気に入りの本をみんなの前で紹介する機会をつくる。
- ◇ 笑顔であいさつしよう。名前を呼ぼう。話を聴き、意見を言える雰囲気をつくろう。
- ◇ 勇気をもって自分の思いを伝える。お互いのことをよく知る。知る努力をする。否定しない。

● 成果2：地域と世界の今をふりかえり、わかったこと/いえること

- ◇ すべてがつながっているので、どこから解決したらよいかわからない。
- ◇ 身近な問題より世界の問題の方がよく見える（日本の問題を見逃しやすい）。
- ◇ 身近な問題を解決することで全体の解決につながるものが多い。
- ◇ KJ法など視覚的にまとめることで、問題解決の糸口が見えてくる。
- ◇ わたし・あなた・みんなの間でラブ（愛）があれば、解決できる！
- ◇ 人間が作ってきた問題だから解決策も人間の中にある。
- ◇ みんなが問題だと思っているのになくならない問題が多い。
- ◇ 地域の人権に関する問題は、具体的なものが出来た。
- ◇ 負の連鎖をプラスの連鎖に変えることで解決につながる。
- ◇ 自分たちに身近な「地域－人権軸」の問題が多い。
- ◇ それぞれの問題の原因にはつながりがある。
- ◇ 問題が大きすぎると現実感がなくなる。
- ◇ 無関心さが作り出している問題が多い。
- ◇ 主な問題で同じような意見が多かった。
- ◇ 地域の問題は世界にもある。
- ◇ 人権の問題が多かった。 ◇ 弱肉強食の問題が多い。



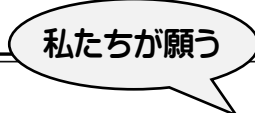
● 成果3：もしも20世紀の開発がもたらした課題（ツケ）を解決せずにほっておいたら？

※ 最悪の帰結（ドクロマーク）と気づいたこと

- ◇ ドクロ…地球規模で戦争が起きる。感想…課題がたくさんありすぎて、どうつなげていったらよいかわからないぐらいになった。つなげていくと先まで見通せてよかった。
- ◇ ドクロ…破滅。感想…最初は出しづらかったが、ある程度出てくるとつながりが見えて、具体的に考えると自分とのつながりがわかってきた。
- ◇ ドクロ…人が地球に住めなくなる。感想…どんなにプラスに考えようとしても、最後は破滅につながってしまった。



● 成果4:


 私たちが願う

持続可能な未来のビジョン(7カ条)

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| ① みんなが学校に行けて夢や希望がもてる | ① 豊かな自然に囲まれた生活 |
| ② お互いのちがいを認め合い助け合える! | ② 安心した空間でだれもが笑顔で生きられる |
| ③ 動植物(自然)との共存! | ③ 色々な文化や考え方が認められる |
| ④ 毎日を安心して暮らせるサービスあり!
(医療・福祉) | ④ 働く楽しさ学べる楽しさ |
| ⑤ 心のゆとりがある! | ⑤ 馬やホテルが見られる風景 |
| ⑥ 富が平等に分配! | ⑥ 世界のみんながお友達!! |
| ⑦ ESDがあたりまえ!の社会 | ⑦ 1人1人が生きがいやりがいを持って
生きられる社会 |
| ① 愛のある生活 | ① 国同士・地域同士が仲良く協力し、
平和に暮らせる |
| ② 安定した仕事がある生活 | ② だれにでもチャンスがあって希望をもてる |
| ③ 「らしさ」を認めあえる生活 | ③ 思いやりの心をみんなが持ちお互いを
認め合い自己肯定感が持てる |
| ④ 自然と共に生きる生活 | ④ 愛のある世の中を作り互いに思いやりの
心を持てる |
| ⑤ みんなが楽しく学べる生活 | ⑤ 自分の好きなことができる |
| ⑥ 心身共に健康でいられる生活 | ⑥ 自然との共存 |
| ⑦ 夢を持つことができる生活 | ⑦ 心にゆとりが持てる |
| ① 仕事がある! | ① 自己肯定感を持てる社会 |
| ② 豊かな自然がある! | ② 動物も人も植物も幸せな社会 |
| ③ 人とのつながりがある! | ③ みんなが就業でき健康で明るく暮らせる社会 |
| ④ 食べ物がある! | ④ 福祉が充実し高齢者も子どもも安心して
暮らせる社会 |
| ⑤ 健康でいられる! | ⑤ 緑がいっぱいの社会 |
| ⑥ 自由が守られる! | ⑥ 心のゆとりが持てる社会 |
| ⑦ 未来への希望が持てる! | ⑦ 美味しいものが食べられる社会 |
| ① クリーンエネルギーを開発し地球環境を維持する | ① 自分の居場所があると感じられ人との
つながりがある |
| ② すべての人が安心した余暇を楽しむ | ② 生きものとの共生ができる豊かな自然がある |
| ③ 伝統文化を大切に馬に乗る | ③ 心とカラダの健康が保たれる |
| ④ 福祉を充実してみんなが住みやすい社会 | ④ 誰もが分け合う気持ちを持ち安心できる |
| ⑤ モラルを守る | |
| ⑥ 自分の地域を大切にする
(地産地消・まつり・コミュニティ) | |
| ⑦ 地域の人意見を大切にする
(ブレインストーミング国会) | |

● **成果5**：より良い未来を選択していく上で、役立つこと／阻むもの（☆印が付いたアイデア）

役立つこと	阻むもの
◇ 公正な正確な情報（多面的）	◇ 情報操作、偏った情報を知ること
◇ 情報リテラシー	◇ マスメディアの情報（テレビ・ケータイ）
◇ 「なぜ？」を大切にする	◇ 情報散乱、過多
◇ 情報を疑う力・判断力	◇ 選択肢が多すぎる
◇ 教育	◇ 「良い」「悪い」を単純に決めつけること
◇ 色々な人との出会い、交流	◇ 固定観念
◇ 新しい人・本・音楽等との出会い	◇ 思い込み、偏見、先入観
◇ 多様な価値観に触れる機会	◇ 自己中心的な考え、損得勘定
◇ 屋外での遊び	◇ 目先の利益
◇ 見聞を広める体験	◇ 個人や国家の利害関係
◇ 気づきにつながる体験	◇ 便利さを求めること
◇ 仲間と何かをやり遂げる経験	◇ ゲーム機器
◇ 自分で考えて行動すること	◇ 周囲の圧力
◇ 自分の考えを持ち判断する	◇ 認めてもらえないこと
◇ 自分の思いを伝える	◇ 自分の考えを否定される状況
◇ 他人の考えを聞き受け入れる	◇ 周りが批判すること
◇ バランス感覚	◇ 多忙
◇ 不便な体験、工夫の習慣	◇ 貧困
◇ 小さな成功体験	◇ 格差社会による教育を受ける機会の不平等
◇ 愛される（自己肯定感）	◇ 偏った非人道的な教義・宗教
◇ 愛のある生活の実践…自分がよいモデルに！	◇ 行動の方法がわからないこと
◇ 人に優しくすること、共感力	
◇ 自分も他者も大切にできる感覚、隣人愛	
◇ 個の世界ではなく、共有・分け合い・共存・共生	
◇ 環境にやさしい行動	
◇ 自給自足、地産地消	
◇ 長期的視野・展望	
◇ 志、目標	
◇ 地域活性	
◇ 家庭の安定と地域の協力	
◇ 相談や疑問を共有できる場・相手	
◇ ゆとり	